

2025 年度 講座・出前授業報告書 No. 45

開催日時	2026 年 3 月 9 日 (月) 開始時間 08:50 終了時間 12:20						
開催場所	くぬぎ台小学校						
実施内容	どうしようプラスチック						
学年、組、等	6 年 1 組		6 年 2 組		—		参加児童数 計
児童数	出席	欠席	出席	欠席	出席	欠席	
	27 人	3 人	24 人	7 人	—	—	51 人
スタッフ	7 名	実施機関スタッフ		3 名			

1 概要

現在広く使われていて無くてはならない状況であるプラスチックについて、海洋ゴミやマイクロプラスチックといった問題があることをパワーポイント及び実験で示した。

続いてこれらメリット、デメリットがあるプラスチックと我々はどう向き合うべきか児童に考えさせた。

2 実施内容

①プラスチックが広く使われていること、及び他の素材との違いや特徴などについてパワーポイントを使い説明した。

②水及び塩水を使いこれらに対し沈むプラスチックと浮くプラスチックが有ることを実験で示した。これらの特徴により、捨てられたプラスチックがゴミとして海底に溜ったり海上に浮いたりすること、更に場合によってはこれらのゴミにより生き物が死んでしまい問題になっていることを説明した。

③プラスチックが紫外線や熱で劣化することでマイクロプラスチック化し、生物に取り込まれる場合がある事を説明した。これらの状況を確認するため、煮干し(カタクチイワシ)の胃から内容物を取り出し顕微鏡で児童に観察させた。

④便利だが問題もあるプラスチックにどの様に対処すべきか児童に考えさせ、それを書かせた。

⑤最後に、相模原市で今年 10 月からゴミの分別回収方法が変更され、ゴミとして回収するプラスチックの対象が拡大することを説明した。

3 良かった点、課題点など

①今回の出前授業に対する児童の感想、考えを発表してもらったが、次のようなものであった。

- ・プラスチックの良いところ、悪いところを知ることが出来良かった。
- ・小さな魚にも(マイクロプラスチックの)影響が有ることを知った。
- ・プラスチックを燃やすと二酸化炭素が出る。別の(処理)方法が有ると良い。
- ・プラスチックゴミを減らすためのボランティアをしたい。
- ・プラスチックを捨てない、リサイクルすることが大切。

②実験に使用する煮干しを事前に(15分程度前から)湯につけていたため、胃を取り出しその内容を顕微鏡で観察する作業がやり易かった。

③授業を始める前に、煮干しの胃から内容物を取り出す方法を中心に打ち合わせが有ったのは大変良かった。

④プラスチックがなかった頃の古い道具の児童に対する提示方法、及び児童に書かせるワークシートの再検討。

